



## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 日本ヒューム株式会社  
コード番号 5262 URL <https://www.nipponhume.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増淵 智之  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 児島 健一  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3433-4111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	9,012	23.0	894		1,659	188.0	1,338	110.2
2024年3月期第1四半期	7,325	4.6	71	69.3	576	26.6	636	3.8

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,494百万円 (24.7%) 2024年3月期第1四半期 1,198百万円 (141.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	56.15	
2024年3月期第1四半期	26.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	61,184	42,451	68.6	1,761.44
2024年3月期	62,079	41,599	66.3	1,725.59

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 41,980百万円 2024年3月期 41,128百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期				25.00	25.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		17.00		17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	9.7	1,700	23.0	2,600	8.7	2,000	4.6	83.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	29,347,500 株	2024年3月期	29,347,500 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	5,514,387 株	2024年3月期	5,513,111 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	23,833,147 株	2024年3月期1Q	24,035,417 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、世界的な金融引締めに伴う影響や不安定な国際情勢、為替相場の変動や物価高騰等、先行きにつきましては依然として不透明な状況が続いたものの、社会活動の正常化に伴う人流の回復や、インバウンド需要の増加、雇用や所得環境が改善する中で緩やかな回復傾向が見られました。

当社グループを取り巻く環境は、当社が取り扱う主力製品であるコンクリートパイプおよびヒューム管の需要が全国的に前年同期を下回りましたが、当社は組織営業体制強化を推進し、基礎事業、下水道関連事業ともに堅調に推移しました。今後も政府主導での国土強靱化の加速化、自然災害・防災対策事業や、道路インフラの予防保全型メンテナンスの需要は高まってくると考えられます。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は90億12百万円（前年同四半期比23.0%増）、営業利益は人的資本経営を推進する中で人件費等が増加基調にある中、売価見直しやコスト削減を図り、利益確保に努めた結果、8億94百万円（同1,158.9%増）、経常利益は16億59百万円（同188.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億38百万円（同110.2%増）と前年同期に比べ大幅な増収増益となりました。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### ①基礎事業

主に前期からの継続工事案件が順調に推移したこと等により、売上高は63億8百万円（前年同四半期比28.1%増）、営業利益は8億29百万円（同892.8%増）の増収増益となりました。

#### ②下水道関連事業

主に高付加価値製品である合成鋼管が出荷されたことや、注力している道路用プレキャスト製品の拡販等により、売上高は23億31百万円（前年同四半期比17.0%増）、営業利益は3億93百万円（同61.4%増）の増収増益となりました。

#### ③太陽光発電・不動産事業

売上高は3億57百万円（前年同四半期比9.1%減）、営業利益は2億9百万円（同0.2%増）となりました。

#### ④その他

売上高は14百万円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益は10百万円（同0.3%増）となりました。

当社グループは、2024年3月期を初年度とする中期経営計画「23-27計画R」を推進しております。当期は中期経営計画5か年の2年目にあたりますが、初年度の計画達成を踏まえ、引き続き全社一丸となり、収益の拡大を図るべく、受注獲得に向けた営業活動を精力的に行ってまいります。

中期経営計画「23-27計画R」における当第1四半期連結累計期間の主な取組みと成果については次のとおりです。

#### ①低炭素型高機能コンクリートe-CON®の実製品納入開始

当社が事業化に向けて開発を進めておりますe-CON®を用いた生物共生型港湾構造物（ブロック）が国土交通省港湾工事において実製品が出荷されました。e-CON®はCO2排出量を削減するとともに、耐塩害性・耐酸性に優れた長寿命コンクリート製品です。今秋に技術審査証明も取得の見込みであり、事業化・販売拡大および脱炭素社会実現への貢献に向けて全社一丸となって推進してまいります。

#### ②新技術開発

当社が得意とするコンクリート杭の施工法である中掘工法（建設残土やCO2排出量の削減にも貢献）において、業界トップの支持力を目指す新中掘工法の開発に取り組んでおります。必要な試験施工が完了し、評価審査が開始されました。また、杭設計ソフトの新規導入や3Dプリンターによる新製品導入など効率化・省人化に資する開発も推進いたしました。引き続きお客様のニーズにお応えする新商品・新工法の開発を進めてまいります。

### ③資本政策の推進

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主の皆さまへの還元のために、2024年5月24日開催の取締役会において総額8億円の自己株式取得枠設定を決議いたしました。配当政策につきましても、安定した配当の維持向上を方針としステークホルダーの皆様のご期待にお応えしてまいります。

当社は2025年に会社創立100周年を迎えます。

25年を通過点とする5か年の中期経営計画「23-27計画R」において、200年企業に向けた構造改革に引き続き取り組み、株主様はじめステークホルダーの皆さまのご期待に応えられるよう、全社一丸となって企業価値向上に努めてまいります。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ8億94百万円減少の611億84百万円となりました。これは、固定資産において投資有価証券が8億8百万円増加した一方、流動資産において受取手形、売掛金及び契約資産が16億14百万円減少したことなどによります。

また、負債の部は前連結会計年度末と比べ17億46百万円減少の187億33百万円となりました。これは、流動負債において支払手形及び買掛金が16億47百万円減少したことなどによります。

純資産の部は、前連結会計年度末と比べ8億52百万円増加の424億51百万円となりました。これは、利益剰余金において親会社株主に帰属する四半期純利益により13億38百万円増加した一方、配当金の支払により6億41百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が1億80百万円増加したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績見通しにつきましては、2024年5月9日付「2024年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表した通期の業績予想に現時点で変更はありませんが、今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,391,378	14,343,569
受取手形、売掛金及び契約資産	10,877,836	9,263,100
電子記録債権	2,503,342	2,252,448
商品及び製品	3,389,764	3,904,339
原材料及び貯蔵品	823,044	758,597
その他	590,161	261,839
貸倒引当金	△18,593	△14,736
流動資産合計	32,556,934	30,769,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,637,353	3,626,895
土地	3,679,942	3,681,168
その他（純額）	2,319,543	2,422,045
有形固定資産合計	9,636,839	9,730,110
無形固定資産	184,893	184,068
投資その他の資産		
投資有価証券	19,424,951	20,233,460
その他	307,669	300,107
貸倒引当金	△32,250	△32,250
投資その他の資産合計	19,700,370	20,501,318
固定資産合計	29,522,104	30,415,497
資産合計	62,079,039	61,184,656
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,527,358	9,880,301
短期借入金	1,448,822	898,750
1年内返済予定の長期借入金	33,320	33,320
未払法人税等	533,074	285,241
賞与引当金	195,338	—
工事損失引当金	1,995	2,216
株主優待引当金	18,793	6,881
その他	1,897,371	2,629,098
流動負債合計	15,656,075	13,735,809
固定負債		
長期借入金	25,030	16,700
役員株式給付引当金	38,266	42,673
役員退職慰労引当金	14,907	14,907
従業員株式給付引当金	54,903	64,454
退職給付に係る負債	2,775,530	2,807,071
その他	1,914,998	2,051,465
固定負債合計	4,823,637	4,997,272
負債合計	20,479,712	18,733,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,251,400	5,251,400
資本剰余金	4,920,916	4,920,916
利益剰余金	30,366,141	31,062,781
自己株式	△2,765,100	△2,765,499
株主資本合計	37,773,357	38,469,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,082,049	3,262,260
為替換算調整勘定	173,703	146,717
退職給付に係る調整累計額	99,382	102,108
その他の包括利益累計額合計	3,355,136	3,511,086
非支配株主持分	470,832	470,890
純資産合計	41,599,326	42,451,574
負債純資産合計	62,079,039	61,184,656

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	7,325,697	9,012,071
売上原価	6,189,306	6,906,250
売上総利益	1,136,390	2,105,821
販売費及び一般管理費	1,065,345	1,211,413
営業利益	71,045	894,408
営業外収益		
受取利息	63	137
受取配当金	92,466	119,523
持分法による投資利益	352,589	617,352
為替差益	43,104	19,300
その他	27,839	23,266
営業外収益合計	516,062	779,580
営業外費用		
支払利息	5,641	5,631
その他	5,289	8,937
営業外費用合計	10,930	14,568
経常利益	576,177	1,659,419
特別利益		
固定資産売却益	198,561	—
特別利益合計	198,561	—
税金等調整前四半期純利益	774,739	1,659,419
法人税、住民税及び事業税	89,095	261,147
法人税等調整額	45,835	60,088
法人税等合計	134,930	321,236
四半期純利益	639,808	1,338,183
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,312	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	636,495	1,338,124

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	639,808	1,338,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	558,621	181,747
為替換算調整勘定	△29,497	△27,866
退職給付に係る調整額	2,802	3,220
持分法適用会社に対する持分相当額	26,512	△1,152
その他の包括利益合計	558,439	155,949
四半期包括利益	1,198,247	1,494,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,194,935	1,494,074
非支配株主に係る四半期包括利益	3,312	58

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	基礎事業	下水道関連 事業	太陽光発 電・不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,925,564	1,992,723	393,645	7,311,933	13,764	7,325,697	—	7,325,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,411	—	9,644	40,055	—	40,055	△40,055	—
計	4,955,975	1,992,723	403,289	7,351,988	13,764	7,365,752	△40,055	7,325,697
セグメント利益	83,554	243,666	208,604	535,825	10,502	546,328	△475,283	71,045

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額 △475,283千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント利益の調整後の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	基礎事業	下水道関連 事業	太陽光発 電・不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,308,517	2,331,074	357,635	8,997,228	14,843	9,012,071	—	9,012,071
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,239	—	9,555	10,795	—	10,795	△10,795	—
計	6,309,756	2,331,074	367,191	9,008,023	14,843	9,022,867	△10,795	9,012,071
セグメント利益	829,544	393,214	209,105	1,431,865	10,531	1,442,396	△547,988	894,408

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額 △547,988千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント利益の調整後の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	170,594千円	178,669千円